

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 時のひかり	
代表者名	藤澤 豪	
連絡先	TEL : 022-248-5858 FAX : 022-797-6154	E-mail matsubara@tokinohikari.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	地域共生秋祭り：障害児者や高齢者が地域交流の輪を広げる
事業の目的	当法人は、重度心身障害児、聴覚障害児、高齢者、そして地域の社会的弱者を支援することを目的とし、地域包括ケアシステムの視点から、地域と共に多様な交流を促進する場を創り上げます。具体的には、福祉施設を活用しながらも地域住民とのつながりや交流活動を重視し、特にコロナ禍以降滞っている地域交流の再活性化を目指します。また、地域に潜在する支援の届きにくい社会的弱者の課題を解決し、共生社会の実現を目指します。 その一環として、障害児者や高齢者を主役に、地域や関係者を巻き込んだ「秋祭り」を開催し、障害理解の促進および多様な交流を創出します。この「秋祭り」では、障害児者や高齢者、その家族、地域住民が交流を通して互いを理解し合い、新たな「つながり」を醸成する場を提供します。さらに、福祉の専門性を生かし、多様な共生地域交流の場や新しいシステム構築を目指します。
事業の具体的内容	地域包括ケアシステムの視点に基づき、重度心身障害児、聴覚障害児、高齢者、社会的弱者が地域の中で主体的に関わることのできる共生の場を創出することを目的として、「地域共生秋祭り」を開催しました。 この秋祭りは、グループ法人の福祉施設（時のかけはし）を会場とし、地域住民や関係団体との協働により、さまざまな交流の機会を提供しました。主な内容は以下の通りです。 1. 障害児による物販・体験コーナーの実施 障害児が主体となって物販や体験ブースを運営し、来場

	者と直接交流することで、社会参加の経験を深めるとともに、働くことの喜びや自信を育む機会となりました。 2. 得意分野の発表機会の提供 「撮り鉄写真展」など、障害児の興味・特技を活かした展示を行い、参加者から好評を得ました。本人たちにとっても自己表現の場となり、自己肯定感の向上が図られました。 3. 障害理解とポジティブな情報発信 参加者を通じて、障害児の多様な魅力や可能性を地域に発信することができ、障害に対する理解促進とポジティブなイメージの形成につながりました。 4. グループホーム利用者の社会参加 グループホームに入居する障害者も運営や出展に参加し、地域とのつながりを感じる貴重な機会となりました。 5. 地域団体・商店・サークルの参画 不登校支援団体、就労支援事業所などが多数参加し、活動紹介など通じて地域全体の連携と交流が活性化しました。 6. 福祉施設を活用した自然な交流の場づくり 会場となった福祉施設の駐車場や会議室には、多くの地域住民や通りがかりの方々が立ち寄り、誰もが気軽に参加できる開かれた交流の場となりました。
活動の開始から完了までの流れ	4月 運営スタート会議 5月6月 地域事業者等関係各所打合せ 7月 装飾品検討・試作品作成 8月 装飾品作成 9月 運営会議・チラシ作成・広報開始 10月 チラシ印刷・近隣2000部ポスティング・広報 運営会議・レイアウト確認 11月 前準備・当日実施・振り返り会議 ～3月 事後処理業務
活動の成果と教訓	本事業では、障害児者や高齢者が主役となり、地域住民と交流する地域イベントを実施しました。福祉サービスの利用者が地域の一員として自然な形で参加し、多世代の人々と関わることによって、自己肯定感の向上が見られました。また、家族とともに楽しめる場を提供することで、世代や属性を超えた多様な「賑わい」を生み出し、参加者同士が共にその空間を体感・共有することができました。

	意図的に設けた地域交流の場を通じて、地域住民が福祉的な取り組みの目的や意義に対する理解を深め、活動への関心を高める契機となりました。さらに、学習支援団体による情報発信が地域住民への理解を促し、支援のネットワーク形成に寄与するなど、地域全体の支援力や連携力の強化につながりました。 イベント当日は 100 名以上が参加し、提供したポップコーンや豚汁はすぐに品切れとなるなど、盛況のうちに終了しました。若い世代から高齢者、障害児者までが共に過ごす光景は、「共生」という理念が形となって表れた瞬間であり、本事業の大きな成果となりました。 この取り組みを通じて、福祉施設と地域住民とのつながりが深まり、双方にとって学びと成長のある関係性が築かれました。今後も、地域における継続的な交流と理解を促進し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指してまいります。
今後の展望など	今回の取り組みを通じて得られた成果は、地域における福祉と共生の可能性を大きく広げるものとなりました。今後は、これらの成果を一過性のものとせず、継続的かつ発展的な取り組みとして位置づけ、次のような方向で事業を展開してまいります。 まず、交流の場を定期的を開催し、福祉サービスの利用者と地域住民が継続して関われる機会を増やしていきます。これにより、日常的なつながりの中で相互理解と支援の関係性が自然に育まれる地域づくりを目指します。 また、学習支援団体や福祉施設による情報発信をさらに強化し、地域内外への認知度を高めていきます。これにより、参加を希望する個人や団体、協力を申し出る新たな支援者とのネットワークが広がり、地域全体の支援力の底上げにつながることが期待されます。 さらに、多様な世代・立場の人々が共に活動できる仕組みづくりを進め、ボランティア育成や地域人材の発掘・活用にも力を入れていきます。特に若い世代が主体的に関われる機会を増やし、地域福祉の次世代担い手を育てていくことが重要です。 最後に、今回得られた「共生の実感」をより広く共有し、他地域への展開やモデル化も視野に入れて取り組みを深化させていきます。地域に根ざしながらも、社会全体に波及する共生社会の実現を目指し、今後も柔軟で創造的な活動を続けてまいります。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
福祉活動助成金	100000	
自己資金	47026	
合計	147026	

■ 支出の部

費目	内容	予算額（円）	実支出額
諸謝金 （助成金・自己資金）	会場提供・運営等諸謝金	40000	99000
広報印刷費（助成金）	チラシ印刷費	30000	7299
消耗品費（助成金）	装飾・感染症予防品等	30000	15077
その他（自己資金）	弁当代等	30000	25650
合計		130000	147026

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

1 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

2 領収書のコピー（郵送）

3 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したもの）

*写真は2、3枚報告書と一緒にデータにてお送りください。

その際、お子さんの画像は公開可のものをお送りください。

令和6年11月9日(土)開催

時のひかり 秋祭り

ポップコーンも
数量限定
お振る舞い♪

スタンプラリー参加で
パンをプレゼント! (限定30個)



- ・ 豚汁お振る舞い 限定30食
- ・ おいしいパン屋さん
- ・ ハンドメイド販売
- ・ コーヒーRAIZOさん
- ・ 撮り鉄くんコーナー



Start at 1:00pm~3:00 / 参加自由



地域の皆様がゆったり集う小さなお祭りを開きます

お気軽にお越しください。

仙台市太白区長町5丁目9-13

時のかけはし 1階 駐車場

駐車場はありません。
公共交通機関などをご利用下さい。
主催：特定非営利活動法人 時のひかり

